

「幌延町交流拠点基本構想」の答申について

令和6年11月8日に、幌延町まち・ひと・しごと創生会議の横尾明委員長から野々村町長へ「幌延町交流拠点基本構想」に関する答申を行いました。

幌延町まち・ひと・しごと創生会議では、令和5年11月27日から令和6年11月6日まで計4回の会議を通じ、主に交流拠点の整備内容や整備場所について、それぞれの立場や経験を基に、町から示された案を慎重に審議した結果、その内容を概ね適切なものと認めました。

○施設の整備内容について

- ・ 老朽化した公衆浴場の更新に併せ、町民の利便性向上につながるような「生活支援」「観光情報等発信」「保健福祉」「高齢者福祉」「交通拠点」「防災」機能を備えた多世代交流施設。
- ・ 床面積は2,100㎡。



機能	具体的なスペース等
生活支援機能	コインランドリー、多目的スペース（サードプレイス）、会議室、温浴施設、温浴施設（ボイラー）、事務スペース、ゆったり駐車場 電気自動車充電設備、W i - f i 機能、無料充電設備
観光情報等発信機能	観光案内、移住定住情報
保健福祉機能	業務スペース、乳児・乳幼児広場、多世代交流・休憩スペース、授乳室、健康増進スペース
高齢者福祉機能	カフェスペース、多目的スペース（和室）、多目的スペース（パブリックビューイングスペース）、相談室、調理実習室、会食スペース
交通拠点機能	バス待合所
防災機能	備蓄庫（防災資機材庫）、福祉避難所、非常用発電設備
その他	再生可能エネルギー発電設備、リチウムイオン蓄電池、エアコン、トイレ（男・女・多目的）